



広報

那覇市民の友

第706号 毎月1回発行
2009年(平成21年)

11月

発行●那覇市 編集●秘書広報課
〒900-8585 那覇市上之屋1丁目2番1号
☎867-0111 ●印刷(株)近代美術

市の人口と世帯	
※()内はうち外国人	
2009(平成21)年9月末現在	
総人口	317,403 (2,162)
男	153,123 (1,104)
女	164,280 (1,058)
世帯数	134,257 (1,337)
住民基本台帳人口の内訳(外国人を除く)	
本 庁	94,978
真和志	104,460
首 里	58,079
小 祿	57,724



ジャズの音色に乗せ平和を発信

ふれあいジャズフェスティバル

市内の小中学校の子どもたちが元気あふれるジャズ演奏を披露する那覇平和芸術祭「ふれあいジャズフェスティバル」が10月12日(月)、那覇市民会館大ホールで開催されました。

那覇平和芸術祭は、悲惨な沖縄戦の体験を記憶にとどめ、先人たちが多くの苦難を乗り越えて築き上げた平和都市「那覇」を受け継いでいくことを誓うとともに、平和を愛する市民一人ひとりの心を、芸術文化を通して広く県内外に発信することを目的に行われています。

8回目となる今回のふれあいジャズフェスティバルには、市内の小中学校15校と中学校5校の児童生徒が参加しました。

この日は、夏休み期間中に、第一線で活躍するジャズミュージシャンのみなさんによる直々の指導の下、技術を向上させた子どもたちが、テキーラやセントルイス・ブルースといったジャズのスタンダードナンバーの他、アニメソングや童謡などおなじみの曲を元気いっばいに演奏し会場を多に盛り上げました。

また、市内の中学生から選抜されたNAHAジュニアジャズオーケストラの演奏も披露され、そのレベルの高さに会場から、感嘆の声が上がりました。

那覇平和芸術祭では、この他にも現代版組踊「那覇センセイション」が10月10日(土)に行われ、市内の小中高生が演劇を通して平和の誓いを発信しました。

主な紙面

- 2 平成22年度市立幼稚園および私立幼稚園児募集
- 3 静かな幸せなひとときを赤ちゃんと共有するために
- 4 子どもの笑顔が輝くまち
- 5 なは情報PACK
- 6
- 7

協働のまちづくり 那覇を紡ぐ



「協働」とは、まちづくりのために、市民・事業者・市民団体・行政などが、それぞれの特性を発揮しながら協力しあうことです。

翁長市長が9月29日(火)、市と道路ボランティア協定を締結している株リウボウストア、沖縄銀行、沖縄県宅地建物取引業協会、(株)古波蔵組、琉球銀行、沖縄ディーエフエス(株)の各社を訪ね、日頃の活動への感謝を述べるとともに、ボランティアを通してのまちづくりについて意見交換を行いました。

道路ボランティアとは、「那覇市協働のまちづくり事業」の一環で、市道の管理者である那覇市と市民のみならず、地域団体、企業の方々

が協働により役割分担を決め市道の美化・清掃を行うことから、地域の活性化および協働型まちづくりを促進していくことを目的に行われているものです。

現在、自治会や通りをはじめ企業や高校など43の団体が、市と道路ボランティア協定を結んでいます。第1期の協働大使にも委嘱され、加盟各事業所とともに市内一円で道路ボランティア活動を行っているリウボウストアの茂木正徳代表取締役社長は、翁長市長からの「先端を切ってボランティア活動に励む姿は、人と人が支え合う協働のまちづくりの原点だと考えております。日頃の活動に感謝いたします」という感謝の言葉を受け、「店舗の周りをきれいにすることで、地域のみなさんが集まりやす

広がる

ボランティアの輪

い店づくりを目指しています。快適な空間を提供し、コミュニティの核となること、スーパーマーケットとして理想と考えております。地域のみなさまや住みよい那覇市のために協働のまちづくりに協力したいと考えています」と協働のまちづくりへの意気込みを話していました。

この後、訪問した株古波蔵組でも古波蔵和夫専務、古波蔵明海常務が「会社がモノレール旭橋駅に隣接していることから、観光のまちづくりに貢献したいと考え、会社周辺の清掃活動を始めました。那覇市がもっときれいなまちになるために、活動を頑張っていきたい」と笑顔で話していました。

訪問を終え翁長市長は、「企業のみなさんの想いを胸に、今後も全力で那覇のまちづくりに取り組んでいきます」と決意を新たにしていました。



リウボウストアの茂木正徳代表社長(左から2人目)と意見を交わす翁長市長。